



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日

上場会社名 株式会社ジーテクト 上場取引所 東
 コード番号 5970 URL <http://www.g-tekt.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 高尾 直宏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 (氏名) 吉沢 勲 (TEL) 048-646-3400
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	152,402	△6.7	10,779	22.0	10,963	44.3	7,289	52.9
28年3月期第3四半期	163,418	16.7	8,833	27.1	7,597	10.9	4,767	12.9

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期△3,377百万円(△1,068.1%) 28年3月期第3四半期△289百万円(△102.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	167.08	—
28年3月期第3四半期	108.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	201,866	109,939	48.9
28年3月期	215,285	114,775	48.1

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 98,740百万円 28年3月期 103,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	15.00	—	17.00	32.00
29年3月期	—	18.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	206,500	△6.4	13,000	1.4	12,300	8.1	8,400	11.1	192.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 —社(社名)— 、除外 —社(社名)—

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 有
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期3Q	43,931,260株	28年3月期	43,931,260株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	297,672株	28年3月期	307,002株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期3Q	43,630,800株	28年3月期3Q	43,747,250株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

<u>目 次</u>		頁
1.	当四半期決算に関する定性的情報	2
	(1) 経営成績に関する説明	2
	(2) 財政状態に関する説明	4
	(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2.	サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
	(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
	(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
	(3) 会計方針の変更・会計上の見積もりの変更・修正再表示	5
	(4) 追加情報	5
3.	四半期連結財務諸表	6
	(1) 四半期連結貸借対照表	6
	(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
	(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
	(継続企業の前提に関する注記)	10
	(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
	(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、日本では、景気は横ばいで推移したものの、輸出が堅調に増加し、一部に持ち直しの動きが見られました。

海外においては、米国、欧州の景況感は改善が続いています。アジアは雇用や所得環境の向上による内需の底堅さが続いており、中国は足元の景気は改善していますが、先行きは不透明となっています。

自動車業界におきましては、北米・欧州では販売台数が堅調に伸びており、中国では、減税措置により、好調な状況が続いています。一方、日本では、依然として軽自動車の販売が低迷しており、2016年通年の販売は停滞となりました。

このような経営環境の中、当社グループでは、ビジネス環境の変化に対応し、「持続的な成長と進化」を遂げるため、技術・販売・人事の3つの分野のイノベーションの具体化を進めております。

当第3四半期連結累計期間の業績については、量産・非量産売上の増加がありましたが、為替の影響等により、売上高は152,402百万円（前年同期比6.7%減）となりました。利益につきましては、中国、欧州の生産拡大、立ち上がり拠点の業績向上、原価低減等の取り組みが奏功し、営業利益は10,779百万円（前年同期比22.0%増）となりました。経常利益は、持分利益が改善し、10,963百万円（前年同期比44.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7,289百万円（前年同期比52.9%増）となりました。

報告セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①日本

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	40,312	40,276	△36	△0.1%
営業利益	1,787	1,357	△430	△24.1%

売上高は、輸出車種の増加や機種構成の差異等により、量産売上の増加があった一方、非量産売上の減少等により、40,276百万円（前年同期比0.1%減）となりました。営業利益は、試験研究費の増加や非量産売上の減少・円安メリットの剥落等により、1,357百万円（前年同期比24.1%減）となりました。

②北米

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	64,078	57,581	△6,496	△10.1%
営業利益	2,565	2,720	155	6.0%

売上高は、生産は概ね堅調に推移したものの、円高による為替影響等により減収となり、57,581百万円（前年同期比10.1%減）となりました。営業利益は、新機種立ち上りコスト等もありましたが、新規拠点の収益が改善し、2,720百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

③欧州

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	9,003	12,663	3,660	40.7%
営業利益	954	1,664	709	74.3%

新型シビックやジャガーの新機種の上売が寄与し、円高による為替影響があったものの、売上高は、12,663百万円（前年同期比40.7%増）、営業利益は、1,664百万円（前年同期比74.3%増）となりました。

④アジア

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	28,920	26,306	△2,614	△9.0%
営業利益	2,764	3,142	377	13.7%

売上高は、タイで主要得意先の新機種好調により増産したことに加え、インドネシアも生産が拡大した一方で、インドにおける生産台数の減少や、円高による為替影響等があり、26,306百万円（前年同期比9.0%減）となりました。営業利益は、インドネシア子会社の本格稼働による収益改善により、3,142百万円（前年同期比13.7%増）となりました。

⑤中国

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	24,084	22,956	△1,128	△4.7%
営業利益	612	1,558	945	154.2%

売上高は、中国自動車市場の拡大により、量産・型設備売上等が増加した一方、円高による為替影響等があり、22,956百万円（前年同期比4.7%減）となりました。営業利益は、生産水準の向上や、原価低減の取り組み等により、1,558百万円（前年同期比154.2%増）となりました。

⑥南米

(単位：百万円)

	前第3四半期 累計期間	当第3四半期 累計期間	前期比増減額	前期比増減率
売上高	7,493	4,187	△3,305	△44.1%
営業利益	332	228	△103	△31.3%

売上高は、量産売上が減少していることに加え、型設備売上の減少及びレアル安による為替影響等により、4,187百万円（前年同期比44.1%減）となりました。営業利益は、原価低減に取り組んだものの、減収の影響が大きく、228百万円（前年同期比31.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末より13,418百万円減少し、201,866百万円となりました。これは主に、建物及び構築物（純額）、機械装置及び運搬具（純額）の減少によるものであります。

負債合計は、前連結会計年度末より8,582百万円減少し、91,926百万円となりました。これは主に、短期借入金及び一年以内返済予定の長期借入金の減少によるものであります。

純資産合計は、前連結会計年度末より4,836百万円減少し、109,939百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年度3月期の通期連結業績予想につきましては、平成28年7月29日発表の予想数値から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間より、重要性が増したG-TEKT(Deutschland) GmbH. を連結の範囲に含めております。

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった、G-TEKT Europe Manufacturing Ltd. については同日現在の財務諸表を使用し連結決算日との間に生じた重要な取引については、連結上必要な調整を行っていましたが、同社が決算日を3月31日に変更したことに伴い、当第3四半期連結累計期間は平成28年1月1日から平成28年3月31日までの3か月分の損益について利益剰余金で調整し連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(たな卸資産の評価方法の変更)

当社における原材料及び貯蔵品の評価方法は、従来、移動平均法及び最終仕入原価法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より、それぞれ先入先出法に変更しております。

この変更は第1四半期連結会計期間より、当社グループにおけるたな卸資産の管理方法を統一し、より正確なたな卸資産金額及び期間損益の計算を実現することを目的としたものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及修正は行っておりません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,021	23,000
受取手形及び売掛金	27,201	23,280
製品	957	940
仕掛品	18,123	14,435
原材料	2,533	2,349
貯蔵品	767	812
その他	5,960	5,647
流動資産合計	70,565	70,466
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	49,612	45,241
機械装置及び運搬具(純額)	39,692	36,307
工具、器具及び備品(純額)	17,752	18,728
土地	10,841	10,433
建設仮勘定	14,213	8,015
有形固定資産合計	132,112	118,726
無形固定資産	2,660	2,391
投資その他の資産		
投資有価証券	7,118	8,112
その他	2,827	2,168
投資その他の資産合計	9,946	10,281
固定資産合計	144,719	131,399
資産合計	215,285	201,866
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,657	16,055
短期借入金	21,802	16,946
1年内返済予定の長期借入金	12,337	8,898
未払金	6,939	5,728
未払法人税等	835	864
賞与引当金	972	1,060
その他	5,688	8,781
流動負債合計	66,232	58,335
固定負債		
長期借入金	26,566	26,936
退職給付に係る負債	1,573	1,544
役員株式給付引当金	99	191
その他	6,037	4,918
固定負債合計	34,276	33,591
負債合計	100,509	91,926

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,656	4,656
資本剰余金	23,657	23,657
利益剰余金	60,141	66,209
自己株式	△370	△358
株主資本合計	88,085	94,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,841	2,344
繰延ヘッジ損益	—	△185
為替換算調整勘定	13,816	2,624
退職給付に係る調整累計額	△266	△208
その他の包括利益累計額合計	15,391	4,575
非支配株主持分	11,299	11,198
純資産合計	114,775	109,939
負債純資産合計	215,285	201,866

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	163,418	152,402
売上原価	145,259	132,121
売上総利益	18,158	20,281
販売費及び一般管理費	9,325	9,501
営業利益	8,833	10,779
営業外収益		
受取利息	92	143
受取配当金	120	137
持分法による投資利益	—	565
その他	269	280
営業外収益合計	483	1,126
営業外費用		
支払利息	895	667
為替差損	531	226
持分法による投資損失	267	—
その他	24	49
営業外費用合計	1,719	943
経常利益	7,597	10,963
特別利益		
固定資産売却益	80	20
投資有価証券売却益	116	79
特別利益合計	197	100
特別損失		
固定資産売却損	4	0
投資有価証券売却損	—	0
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益	7,790	11,062
法人税等	2,125	3,058
四半期純利益	5,664	8,003
非支配株主に帰属する四半期純利益	896	714
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,767	7,289

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	5,664	8,003
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	231	502
繰延ヘッジ損益	42	△185
為替換算調整勘定	△6,218	△11,391
退職給付に係る調整額	33	58
持分法適用会社に対する持分相当額	△41	△366
その他の包括利益合計	△5,953	△11,381
四半期包括利益	△289	△3,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△495	△3,526
非支配株主に係る四半期包括利益	206	148

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	31,777	63,321	8,961	28,450	23,420	7,487	163,418
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,535	757	41	470	664	5	10,474
計	40,312	64,078	9,003	28,920	24,084	7,493	173,892
セグメント利益	1,787	2,565	954	2,764	612	332	9,016

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,016
セグメント間取引消去等	△111
のれんの償却額	△72
四半期連結損益計算書の営業利益	8,833

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、重要性の増したG-TEKT MEXICO CORP S.A. DE C.V. を連結の範囲に含め、新たに「北米」セグメントに加えております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						合計
	日本	北米	欧州	アジア	中国	南米	
売上高							
外部顧客への売上高	30,655	57,002	12,482	25,810	22,263	4,187	152,402
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,620	579	181	495	692	—	11,569
計	40,276	57,581	12,663	26,306	22,956	4,187	163,972
セグメント利益	1,357	2,720	1,664	3,142	1,558	228	10,670

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,670
セグメント間取引消去等	109
のれんの償却額	—
四半期連結損益計算書の営業利益	10,779

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

- (1) 第1四半期連結会計期間において、重要性の増したG-TEKT(Deutschland) GmbH. を連結の範囲に含め、新たに「欧州」セグメントに加えております。
- (2) 会計方針の変更等に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より、当社における原材料及び貯蔵品の評価方法を移動平均法及び最終仕入原価法から、それぞれ先入先出法に変更しております。
この変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。